

本校は定時制課程があり、平日の練習が1時間程度しか行えないため、選手が主体性を持ち、頭を使い、限られた時間を有効に使っています。東京都ベスト16の中には、強豪私立校や都立の中でもスポーツ推薦実施校が多く、本校のように、ジュニアからの経験者が1人もいない普通の都立高校がランクインするのは大変難しいことです。「コートの中で戦うのは自分たち」という意識で選手たちが主体性を発揮し努力を続けてきた結果です！今後は、東京都上位の維持と勉強や学校生活を両立し、まわりから応援されるチームを目指します！

### 【男子団体】 関東大会都予選 決勝大会結果報告

#### 1回戦敗退（都ベスト16止まり） 0 - 2 目黒日本大学高校

4月25日（日）に関東大会東京都予選決勝大会が駒沢オリンピック公園屋内球技場で行われました。この会場に足を踏み入れることができるのは、東京都約250校中、勝ち上がった16校のみです。1回戦は、東京都3位の目黒日本大学高校さんでした。

予選とは雰囲気の違い、強豪校だらけで緊張しましたが、東京都ベスト8のダブルスのスマッシュを拾い続けたり、シングルスでも一時はリードするなど、自分達の力を発揮することができました。

目黒日本大学高校さんは、その後も勝ち進み、関東大会へ出場が決まりました。

1回戦 v s 目黒日本大学高校

1D●柴田・神立 0 - 2、S●松野 0 - 2

今回も東京都ベスト8の壁の厚さを実感しましたが、次のインターハイ予選のシードを獲得しているので、それを維持できるよう引き続き頑張ります。



予選優勝の表彰状



組み合わせ

### インターハイ東京都予選

#### 男子個人で都ベスト40！（ベスト32+シード8）

5月2日（日）にインターハイ東京都予選個人（男子ダブルス）が行われ、3年の松野・小島ペアが5回戦に進出し、東京都ベスト40にランクインしました。5回戦（各組準決勝）の相手は、東京1位で3月の全国高校選抜でベスト16の淑徳巣鴨高校の選手でしたが、積極的に攻め、1ゲーム目は16 - 21と粘り、2ゲーム目は引き離されてしまいましたが、終了後も相手選手にアドバイスをもらいに行くなど、収穫の多い試合でした。

本校は普通の都立高校ですので、高校で始める選手も在籍しています。東京都ベスト8を目指す選手だけではなく、初心者大会優勝を目指す選手もいれば、公式戦3回戦進出を目指す選手もいます。感染症の影響でコートに入っている体験は出来ませんが、見学をご希望の場合は顧問までお問い合わせください。

#### 練習試合・合同練習等の実施状況

【昨シーズン】日大桜丘、駒澤、豊南、川口青陵、川崎総合科学、相模原弥栄、鶴沼、横浜高校他

【春休み中】東海大高輪台、城東、小岩、東村山、明治学院東村山、田無、東大和高校他